

目標達成計画

作成日：平成 22年 12月 17日

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。
目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	6	身体拘束マニュアルを作成し計画的に勉強会を実施しているが、全職員がグループホーム指定基準における身体拘束禁止内容を正しく理解しているとは言いがたい。	全職員が指定基準における身体拘束を正しく理解し、実践できる。	①身体拘束廃止委員会を中心にマニュアルを見直し、和みの家で起こりうる身体拘束をマニュアルに追記する。 ②ミーティングで全体勉強会を行なう。 ③実践内容を、各棟のケア会議や全体ミーティングで評価する。	6ヶ月
2	26	毎月のケア会議でモニタリング・アセスメントを行ない介護計画を作成しているが、チーム全員で計画を立て、計画に沿ってケアしているという意識が低い。	チーム全体で介護計画を作成し、計画に沿ってケアしているという意識を高め、目標達成に向けて、チーム全員で統一したより良いケアが実践できる。	①「今月の様子」の担当者が中心となりモニタリングを行ない、モニタリング用紙に記入する。 ②モニタリングして気付いた内容をケア会議で取り上げ検討する。 ③検討した内容を介護計画へ追加し、チーム全員で統一したケアをする。	6ヶ月
3	35	定期的に避難訓練を実施しているが、頭では理解しても、基本動作が完全に身に付いている職員は少ない。	火災を想定した避難の基本動作を、全職員が完全に身に付ける。	①一年間の訓練計画を立て、担当者を決める。 ②災害対策委員会を中心に、担当者は自主マニュアル訓練までに基本動作を身に付けるための訓練を実施する。 ③自主マニュアル訓練は1回/2ヶ月行ない、基本動作が身に付いたか確認する場とする。	12ヶ月
4	11	毎月のミーティングは、月目標の反省・各委員会の報告・研修の場となっているが、伝達が多く、運営に生かすための職員の意見交換が少ない。	毎月のミーティングやケア会議で、運営に関する職員の意見交換が出来き、運営規定・理念を基に職員全員で和みの家を盛りたてて行くことができる。	①各棟ごとに職員間で話し合いたい事柄を記入する場所(ノート等)を作る。 ②各棟のケア会議で、次期ミーティングで話し合う内容を決める。 ③ミーティングで各棟から出た内容を取り上げ意見交換し、運営に生かす。	3ヶ月
5	10	家族の意見や要望を聴く機会はあるが、一部の家族に限られていたり口頭での会話であり、遠慮がちな意見であると思われる。	和みの家により良くなって行く為に、家族の真の思いを知り、運営に生かして行く。	①家族会で家族にアンケートの協力をもらう。 ②アンケートに対する回答は、毎月の「お知らせ」に記入し、結果を全家族に知らせする。 ③家族アンケートは、定期的に家族会時に実施する	12ヶ月

注)項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。